

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年1月7日 (2016.1.7)

【公表番号】特表2015-501688(P2015-501688A)
 【公表日】平成27年1月19日 (2015.1.19)
 【年通号数】公開・登録公報2015-004
 【出願番号】特願2014-542812(P2014-542812)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 5/145 (2006.01)

A 6 1 M 5/24 (2006.01)

A 6 1 M 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/14 4 8 5 D

A 6 1 M 5/24

A 6 1 M 5/00 3 2 0

【手続補正書】
 【提出日】平成27年11月10日 (2015.11.10)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 1 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 1 0 7】

図 1 4 に示されるように、投薬インターフェース 2 0 0 は、カートリッジ・ハウジング 4 2 の遠位端に連結される。このカートリッジ・ホルダ 4 0 は、一次薬剤 9 2 を収容した第 1 のカートリッジ 9 0 と、二次薬剤 1 0 2 を収容した第 2 のカートリッジ 1 0 0 とを収容するものとして示されている。一旦カートリッジ・ハウジング 4 2 に連結されると、投薬インターフェース 2 0 0 は、本質的に、第 1 および第 2 のカートリッジ 9 0、1 0 0 から共通の保持チャンバ 2 8 0 までの流体連通経路をもたらすメカニズムを提供する。この保持チャンバ 2 8 0 は、用量ディスペンサと流体連通しているものとして示されている。ここで、図示されるように、この用量ディスペンサは両頭針アセンブリ 4 0 0 を備える。図示されるように、両頭針アセンブリの近位端はチャンバ 2 8 0 と流体連通している。